

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動療育型児童デイサービスCREDO月が丘				公表日	令和 7年 3月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・運動器具等の配置等を工夫し、スペースを有効的に使用できるよう努めています。 ・運動プログラム、また、参加される人数によって、空間やグループを分けるなどしながらスペースの確保に努めています。	・利用定員に対して、設置基準を満たしたスペースを確保しておりますが、余裕のあるスペース確保のため、運動内容の検討やスペースの使い方を適宜検討していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・1日の配置人数を充たすだけでなく、各室内のお子さまの人数等により、適宜職員配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・活動内容やスケジュール、余暇時間に使用できるもの、また、運動活動中の並び方などを視覚的に提示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・活動内容に合わせた部屋の使用を行っている。 また、落ち着ける空間が求められた際には、相談室を使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表だけでなくアンケートも実施しています。また、日々、意向や要望についてお伺いし、業務改善に努めています。	・今回実施した保護者等向け評価表の活用により、保護者等の意向等を把握し、更なる業務改善につなげていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		・今後、第三者による外部評価を検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			・今後、より研修機会の確保、また、各職員のキャリア形成に即したものとするため、内容等、選定していきたい。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			・支援プログラムはホームページ上に公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画を一覧化し、各職員が確認しやすい形で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・運動プログラムについて、担当者を日替わりのローテーションで設定し、スタッフで最終打ち合わせを行い、決定している。		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・ボール、リズム、バランスなど主軸となる5つのプログラムタイトルと作成スタッフをローテーションすることでプログラムが固定化しないように努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・運動療育は集団活動となるが、その中で個人に合わせた課題を設定したり、日常生活動作に係る支援や余暇時間での個別活動を適宜組み合わせ作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・支援終了後、支援の振り返りを行い、次回の支援方法についての検討、決定までを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・現在6か月単位での見直しを行っているが、今後、短い期間での見直しも検討していきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	・運動療育が軸となる活動ではあるが、創作活動、余暇の提供等、複数の活動を組み合わせて支援を行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校との情報共有、連絡調整を行うとともに保護者様からもご連絡頂いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		・現在まで積極的な情報共有の働きかけは行っていないが、保護者様より要望があれば情報共有に努めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		・現在まで、卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行した方はいらっしゃらないが、該当となる方がいる場合には情報提供に努めたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		・現在まで実施していないが、保護者様の要望等あれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・利用時に日々のお子さまの状況、課題や成長等を保護者様に詳しくお伝えできるように心がけている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		・昨年度、保護者様向けの講演会を実施したが、今年度は実施できていない。ご要望等も確認し、定期的実施していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・ご契約時、個別支援計画の見直し時に確認を行っている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	・現在は父母の会の活動ではなく、保護者参加の行事を実施し、代替活動を行っている。	・現在までの開催はないが、保護者様の要望等あれば検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		・苦情、また、ご相談、ご要望等についても可能な限り対応させていただきたいと考えております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・主に毎月のお便りにて発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			・現在まで、必要と思われる事例は把握しておりませんが、契約の際の書類等ヘルピを振るなどの配慮を検討したいと考えております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・ホームページ上に各種マニュアルを公開しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		・ご利用者様から指示書についてお話をいただいたことはないですが、医師からの指示がある場合にはお伝えください。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		・ホームページで公表いたします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		・内容によって、記録に残していないものもあるため、小さなことでも記録に残すことをしていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・契約時、「緊急やむを得ない場合の身体拘束にかかる説明書及び同意書」を使用し、説明の上、同意を得ている。		